

# 2 県の財政

## 2024 年度当初予算

一般会計、特別会計、企業会計の3会計を合わせて4兆3,427億余円で、2023年度当初予算額に比べて5.7%の減となっています。

このうち、一般会計は2兆7,949億余円で2023年度当初予算額に比べて5.8%の減となっています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策関連事業が、5類感染症への移行により2,538億円減少するため、これを除いて比較すると、3.1%の増となっています。

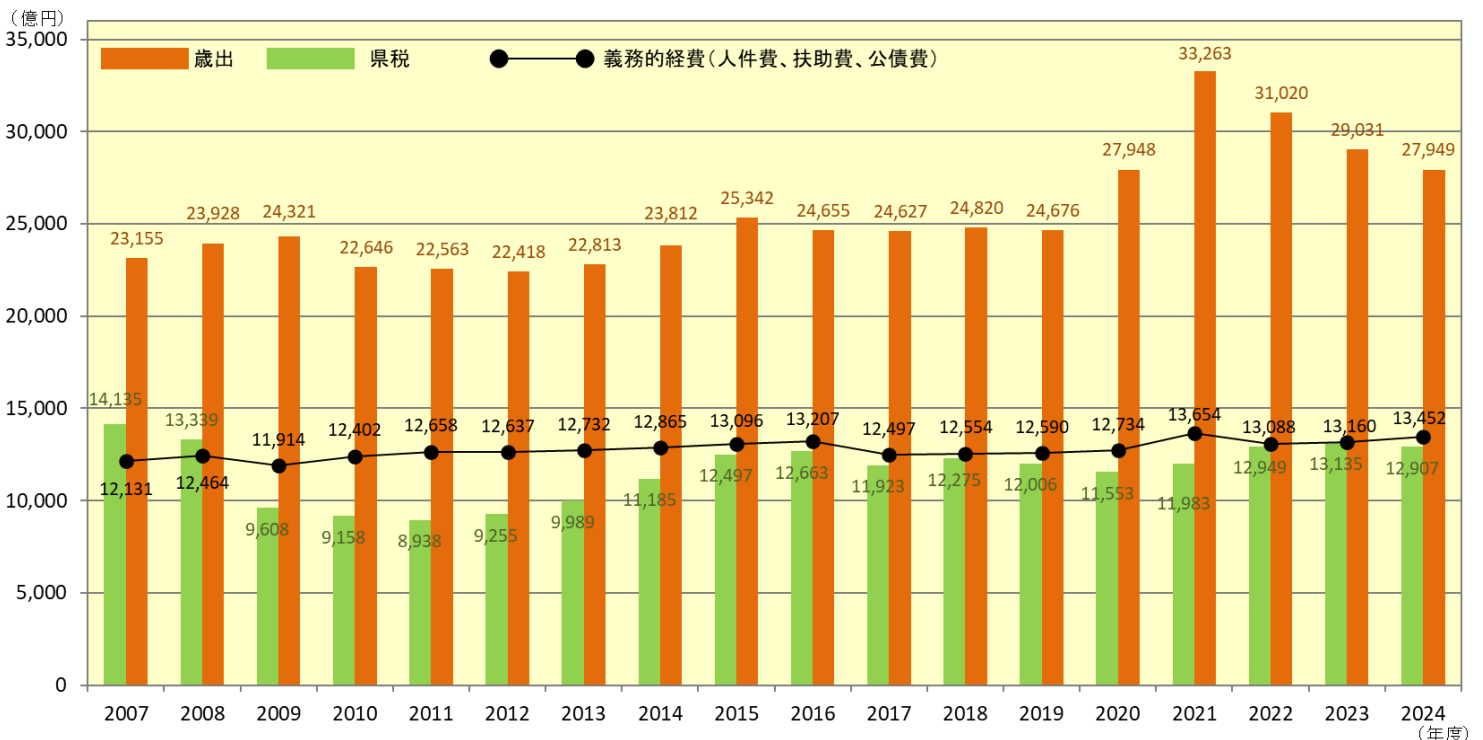
区分	予算額	伸率
一般会計	2兆7,949億4,400万円	△5.8%
特別会計	1兆3,250億5,616万1千円	△2.5%
企業会計	2,227億3,969万4千円	△20.2%
合計	4兆3,427億3,985万5千円	△5.7%

## 県財政の現況

2024年度当初予算においては、県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税の増収を見込んでいますが、今後、懸念材料である海外景気の下振れや金融資本市場の変動等の影響に十分留意する必要があります。一方、歳出では、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化により、医療・介護・子育てなどの扶助費が大きく増加することなどから、依然として多額の収支不足が見込まれました。

引き続き厳しい財政状況ではありますが、2024年度当初予算は、「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信するとともに、「STATION Ai」を始めとした日本の未来をつくるビッグプロジェクトを着実に推進し、空高く舞い上がる龍のごとく、勢い盛んに愛知を成長・発展させ、大きく躍進させていくという思いを込め、「龍躍愛知」予算として編成しました。

## 歳出規模と県税収入の推移

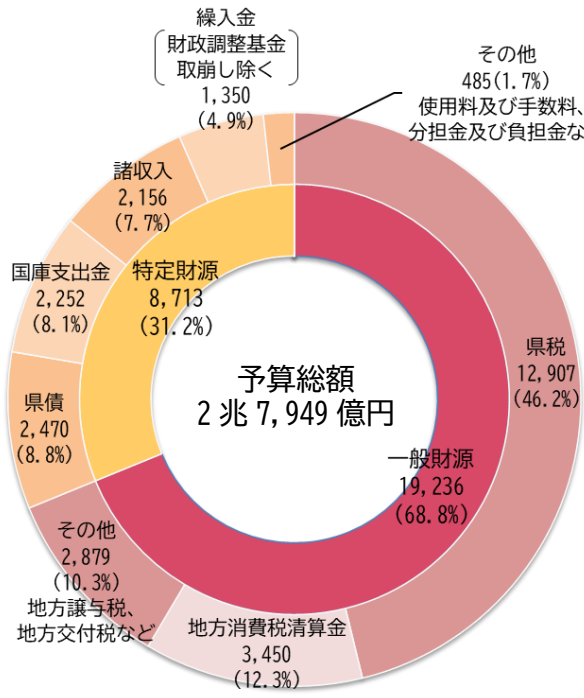


(注) 1 2022年度までは決算額。2023年度は最終予算額。2024年度は当初予算額。

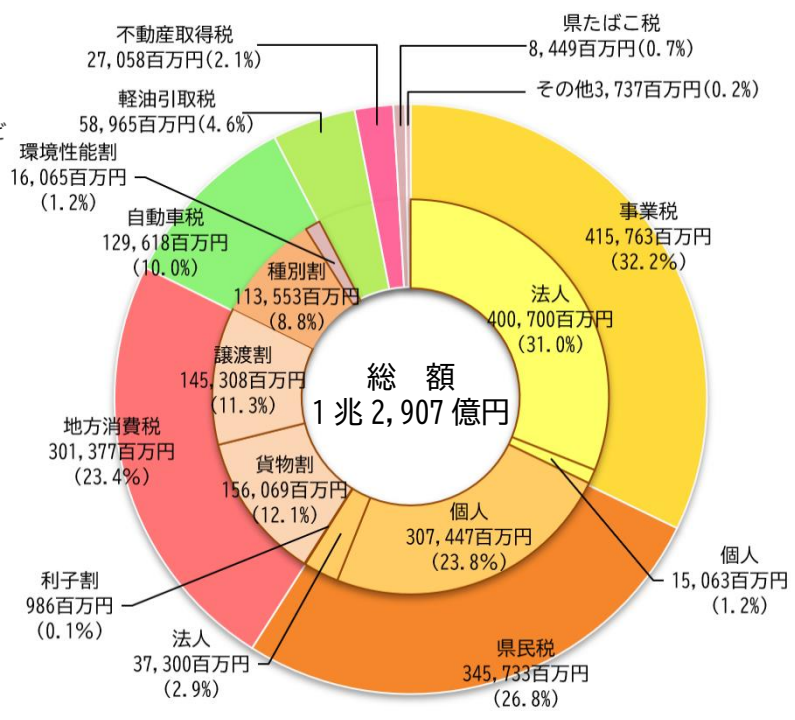
2 歳出及び義務的経費は借換債除きの規模(義務的経費は最終予算額)

# 2024 年度一般会計予算の状況

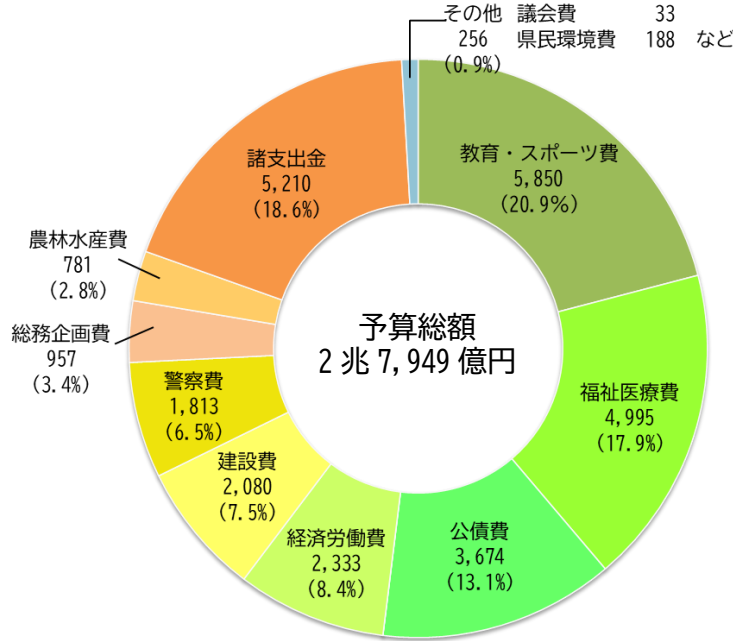
## ◆性質別歳入(単位:億円)



## ◆県税税目別内訳



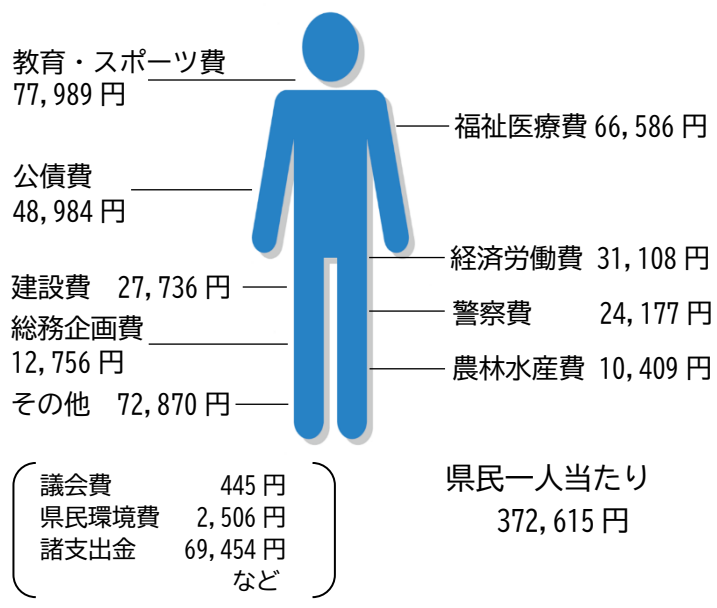
## ◆目的別歳出(単位:億円)



県民の皆さんに納めていただく県税は、県がさまざまな施策を進めるために必要となる大切な収入です。また、県の一般会計歳入予算の中でも大きな割合を占め、重要な財源となっています。その主なものは、事業税、県民税、地方消費税などです。

## ◆県民1人当たりの一般会計歳出額(単位:円)

(2024年1月1日現在住民基本台帳人口7,500,882人)



県の歳出を行政目的によって、議会費、福祉医療費、経済労働費、建設費、教育・スポーツ費等に分類したものを目的別歳出といいます。

小学校、中学校、高等学校の教職員の人件費、高等学校整備費及び私学助成などを主な内容とする教育・スポーツ費が20.9%、健康づくりや医療、福祉などの事業を行う福祉医療費が17.9%、また、県が借り入れた地方債の元利償還金等を支払う公債費が13.1%を占めており、この3費目で歳出全体の約5割を占めています。